

北海道原水協ニュース

原水爆禁止北海道協議会 Eメール hokkaidogensuikyo@pearl.ocn.ne.jp
電話011 (747) 7557 fax011 (747) 7537 発行/2019年10月25日

世界を変えよう、私たちの声と行動で

「ことばがありません」北海道原水協・国連軍縮週間原爆パネル展から

一枚一枚ていねいに見ていた女性に声をかけて鶴を折ってもらいました。鶴を折りながら「どうして今でも戦争するのでしょうか」とシベリアから運よく帰ってきた父親から何回も何回もその体験を聞いたという女性が問いました。『原爆孤児』を見ながら、原爆ドームは見たことがありますが、広島に娘がいるうちに原爆資料館も訪ねたいと涙ながらに語ってくれました（写真／一文字に折り鶴を貼っている女性）

解説もしっかり読みながらパネルを見ていた戦後生まれの男性は、「広島の資料館に行ったことがある。若い人たちにこのパネルを見てほしい。（その悲惨さなど）想像力を働かしてほしい」と静かに話しました。

札幌市地下街オーロラコーナーは署名はできませんが、朝夕の通勤・通学時間、昼休み、地下街の買い物客など人通りが多く、自由にパネルを見ることができます。“核兵器禁止条約批准国が33か国に”日本原水協交流ニュースも一緒に掲示しました。



「ことばがありません」と一言だけ感想を伝えた男性が日本原水協に下記のメッセージを寄せました。
「あのようなパネルを見ると何の罪もない人々を死に巻き込む核兵器のむごたらしさと戦争に改めて怒りを覚えます。戦争の記憶がますます薄れていく昨今、今回のようなパネル展を幅広く、多くの市民の目にさらされるように展開していただきたい。日本政府に核兵器の禁止条約に調印し考えを改めるよう強く願っています。地道な運動であっても継続が力となることを信じてやみません」

あなたも
原水爆禁止
世界大会
NYへ

被爆75年の2020年4月24日～26日原水爆禁止世界大会が核兵器全面禁止・廃絶めざし、ニューヨークで初めて行われます

北海道原水協も代表団を派遣します。北の大地からの声をNYに響かせましょう。いま申し込みを受け付けています。詳細は問いあわせ下さい。（第1次締め切り10月31日、最終締め切り2月28日）

◎ いよいよ明日は札幌で北海道原水協学校です（旭川は27日）

日本原水協が24日東京で行った「日本政府は核兵器禁止条約の調印・批准を」のパネル討論。市民と野党の共通政策に「核兵器禁止条約の批准」を加えることが、立憲民主党、日本共産党、「市民連合」呼びかけ人、日本被団協はじめパネラーが活発に議論しました。

原水協学校講師の土田弥生さんは、核兵器のない世界への可能性・展望—やりがいのある時期と、2020年に向け変化を起こす運動をつくろうと熱く語ってくれることが期待できます。

